



withコロナ/Afterコロナの時代を見据えて

# 令和3年

# 鳩山町成人式



①誓いのことばを述べる新成人代表の矢口 瞳さん。 ②③会場では、新成人はマスクをし、座席は間隔を空けて設けられました。 ④式典では、小峰孝雄町長から新成人に激励の言葉が送られました。 ⑤会場入り口では、検温や消毒の実施に協力をいただきました。 ⑥当時、鳩山中学校3学年、学年主任であった清水 浩氏による恩師のことば ⑦⑧⑨懐かしい旧友や恩師の姿に、新成人からは笑顔があふれていました。

誓いのことばでは、新成人を代表して矢口 瞳さんが「両親や家族、日々支えてくれた人々たちへの感謝の気持ち」を伝え、「社会の一員として、コロナ禍という未曾有の社会情勢は、私たちの物とらえ方や考え方にまで影響を及ぼしています。その中で悩み、もがきながらも、一歩一歩前進し、未来に向かって突き進みます」と誓いました。

第2部の恩師のことばでは、出席した4名の恩師から、代表して、当時鳩山中学校3学年、学年主任であった、清水 浩氏よりお祝いの言葉が贈られました。恩師からの言葉で、会場内が温かな空気に包まれました。

例年にない状況下での開催となった成人式でしたが、旧友や恩師と久しぶりに再会し、喜びに笑顔が輝く新成人の姿がたくさん見受けられました。

新成人の皆さんの「二人への門出」を祝おうと、1月10日(日)に、令和3年成人式が町文化会館で行われ、今年成人を迎えた123人のうち93人が会場に訪れました。今回の成人式は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、消毒、検温などの徹底、会場内には新成人のみが入場、座席の間隔を空けるなど感染防止対策を実施し、開催しました。

また、式典、恩師の言葉は規模を縮小して実施し、記念写真撮影は屋外で行い、例年行われてきた新成人によるアトラクションは中止とするなど、大きく内容を変更しました。

式典では、小峰 孝雄町長から「良い心がけや行動などを習慣づけることで、自分自身を変えることができ、やがては人生を、そして運命をも自らの力で変えることができます。自分自身を変えることで、皆さんがお持ちの夢や希望を実現させてください」「本日成人式を町では実施するか悩みました。しかし、新成人の皆さんにとっては、人生に一度の大事な日。感染防止に努めつつ、開催することにしました。新成人の皆さんにも、感染防止にご協力いただきたい」と新成人へメッセージが送られました。

# 新成人に「今」を聞く

変わったこと、変わって  
いきたいこと



▲実行委員が作成した動画からのメッセージなどの動画は、会場外のモニターで公開しました。



▶動画を楽しむ新成人や保護者の姿が多く見られました。



矢口 瞳(やぐちひとみ)さん  
鳩山小学校出身



中野 夢菜(なかの ゆな)さん  
今宿小学校出身



根岸 偉吹(ねぎしいぶき)さん  
今宿小学校出身



石井 百花(いしい ももか)さん  
今宿小学校出身

これから社会人として様々な経験をする新成人。新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、日々の生活が激変していく中、今回成人式の実行委員となった4人の新成人に、現在の心境や生活の様子などを伺いました。

※感染防止対策を実施し、実行委員の方々の写真は個々に撮影しました。

## 開催も危ぶまれた成人式

今回成人式の実行委員長であり、式典では誓いのことばも述べた矢口さんは、「準備を進めていく中で、毎回状況が変化し、先行きに不安を感じていました。町でその都度対応してくださって、本日成人式が開催できたことに感謝しています」と話していました。また現在、大分県の医学部に通っている根岸さんも「規模は縮小しましたが、式典があったことが救いです。全く会えていなかった友だちに会える機会があった良かった」と話していました。

当初はアトラクションとして、会場でビデオを流したり、写真撮影をする予定でしたが、中止となりました。しかし「実行委員がそれぞれ出身の小学校などに行き、先生のコメントなどを撮影しました。それを矢口さんが編集してくれました」という力作の動画は、会場外のモニターで、無事公開され新成人や保護者の方々の楽しませていました。

## コロナ禍の中で変化した日々の生活

多くの学校がオンライン授業に切り替わる中、特に鳩山町を離れている石井さんは今年度から大学に入学したのですが、すぐにオンライン授業になってしまいました。友だちもできず、土地にもなじみず、心細かったと話していました。

将来、農協で働くことを希望している根岸さんは、大学に通う傍ら、鳩山町のスーパーマーケットでアルバイトをしています。その際、コロナ禍となりお客さんが増えた気がしています。遠出をしないで近場で買い物などを済ませているのかなと感じましたと話していました。

コロナ禍の影響は、中野さんの「今までは遠くに出かけることが多かったのですが、今はちょっとした用事で近くに出かけるのもためらってしまいます」という言葉や、石井さんの帰省の際移動にとても気を遣う状況でした」という言葉にも現れていました。

## 将来の夢 そして町への要望

現在は、製菓工場に勤める中野さんは、将来は、洋菓子関連の自分のお店をもてるようになりたい」と夢を語ってくれました。「現在は、集団で働いているので、マスクを二重にすると、毎朝検温を徹底するとか、ちよっとした負担が増えていくような気がします」と話した上で「鳩山町では20代の感染者も発生していると聞いています。鳩山町内というよりは、町外で感染していると思いますので、町からも引き続き外出を控えるよう呼びかけてほしい」と要望を話してくれました。

令和3年の成人式は、実行委員の方々をはじめ、新成人の方それぞれの協力があり、実現できました。コロナ禍という未曾有の状況の中で不安なことばかりですが、それぞれ夢に向かって進んでほしいと思います。

## 鳩山町の新型コロナウイルス感染症対策として サーモグラフィカメラを設置しています

新型コロナウイルスの感染拡大予防に留意しつつ、イベントを実施していくために、参加者等に対する検温を実施するサーモグラフィカメラを、会場入り口等に設置しています。この機器は、手の消毒時にカメラで自動的に体温が計れるようになっており、37.5度以上の体温を検知するとお知らせする仕組みとなっています。今後、イベント等で設置された場合は、検温にご協力をお願いします。



▲検温のために設置したサーモグラフィカメラ



▲今回の成人式でも、会場入場の際に使用しました。



■問合せ 町中央公民館  
☎ 296-2774